

断熱・省エネルギーフォームしてみませんか！

大阪府地球温暖化防止活動推進センター

省エネ住宅のメリット

夏涼しく、冬暖かい

窓や外壁の断熱性能を高めることで、外気の影響を受けにくくなります。

光熱費が安くなります

外気の影響を受けにくい
ため、空調のための費用
が少なくなります。

健康にも良い効果があります

室内の温度差が少なくヒートショック
の予防、結露に伴うカビの発生防止
によるアレルギー症状の改善などの
健康面の効果が期待されます。



断熱リフォームの種類

天井断熱

夏の天井裏の気温は50℃以上に達することもあります。天井裏に断熱材を敷き詰めることで夏は天井からの火照りを抑え、冬は室内から熱が逃げていくのを防ぎ暖冷房効果を高めます。

窓断熱

断熱リフォームを検討するなら、まずは効果の高い窓から。断熱リフォームすることで室内側の結露防止、防音などにも効果があります。また製品によっては防犯性が向上します。

単板の窓が寒い！結露が気になる！
そんな時の対応策

対応策
1

カバー工法 + 複層ガラス



対応策
2

内窓の取り付け (二重窓)



床断熱

冬の冷たさは足元から感じるものです。床下にマット・ボード状などの断熱材や気流止めを施工することで、冷気の侵入や底冷えを防止します。

外壁断熱

外壁に断熱材を施工して夏は室内への熱の侵入を、冬は熱の流出を防ぎます。これによって暖冷房効果が高まり省エネに。

浴室断熱

浴室リフォームにあわせて、窓や躯体を断熱施工することや断熱タイプのユニットバスに交換することで暖かい浴室に生まれ変わります。さらに、浴槽に保温材のついたユニットバスにすることで、湯温も下がりにくくなります。

出典:環境省デコ活HP「みんなでおうち快適化チャレンジ」

その他の省エネリフォーム

太陽光発電・蓄電池の導入

太陽光発電システムや蓄電池を設置することで、電気代が節約できるほか、災害による停電時にも電気が使えるようになります。

高効率給湯器の導入

ヒートポンプ式や燃料電池による給湯器を導入することで、光熱費を削減できます。